



『天使が家に泊まりにきた』

編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★☆
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★★

■感想

『天使が家に泊まりにきた』は、姉から預かることになっためちやくちゃ可愛い姪に手を出してしまうどうしようもないおじさんとムツツリなロリという出会っちゃいけない組み合わせのお話です。

導入パートはそこそこ長めなのですが、美少女度を見せつける事でそうと思わせぬ盛り上げ方も見事。

イタズラから性に興味を持ち、段階的に事を進めていく丁寧な進行は「読者を焦らす」というより「次のエロさの為の助走」を見せつけてくる感じ。

ヒロインは一度目覚めたら(文字通り)むしゃぶりついてくる様はまさに天然もののサキュバス。

ロリ商業誌やロリ専門の作家さんの作品にある デフォルメや丸み、恋愛要素などは少なく、キャラやエロ描写は作者様の素の軸を保ったまま、ロリコン歓喜の要素である「記号」が程よく融和されています♡

『天使が家に泊まりにきた』を今すぐ立ち読み